

## 能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

平成30年5月

# 目 次

## 基本目標 1 地域における安定したしごとの創出

- (1) 地域産業の活性化の推進 . . . . . 1
  - (ア) 新エネルギー等関連産業の創出
    - (a) 関連産業の創出と育成
    - (b) 水素エネルギーの研究
  - (イ) 企業誘致及び企業活動への支援等
    - (a) 企業誘致の推進
    - (b) 能代港の利活用促進
  - (ウ) 商工業の振興
    - (a) 既存企業の維持拡大
    - (b) まちのにぎわいの創出
    - (c) 起業等の促進
    - (d) 人材の確保・就職支援
  - (エ) 農業の振興
    - (a) 野菜ランド能代の推進
    - (b) 水田農業の再構築
    - (c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進
    - (d) 担い手育成と新規就農者の促進
  - (オ) 林業、木材産業の振興
    - (a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立
    - (b) 林業生産の効率化
    - (c) 地場産材の消費拡大
- (2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大 . . . . . 7
  - (ア) 市内外への魅力のPR
  - (イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利用
  - (ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

## 基本目標 2 少子化対策

- (1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成 . . . . . 9
  - (ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成
- (2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化 . . . . . 10
  - (ア) 出会いの機会の提供
  - (イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実
    - (a) 不妊治療等に対する支援の推進
    - (b) 子どもを生み育てるサポート体制の充実
  - (ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減
  - (エ) 子育てと仕事の両立支援
    - (a) 安心して預けられる保育環境の整備
    - (b) 企業等による子育て支援の促進
  - (オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり
- (3) 次代を担う子どもの成長支援 . . . . . 12
  - (ア) きめ細かな教育の推進
    - (a) ふるさと教育の推進
    - (b) 多様なニーズに対応した教育の推進

### 基本目標 3 移住・定住対策

(1) 首都圏等からの移住の促進	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(a) 移住情報の発信と収集	
(b) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ) 多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のUターンの促進	
(2) 若者の定住の促進	15
(ア) 高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進	
(3) 地元への愛着をはぐくむ	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ) シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	

### 基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1) 広域的な視点での地域社会の形成	17
(ア) 能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(a) 自治会等への支援	
(b) 地域づくりの促進	
(イ) 防災への対応強化	
(ウ) 地域公共交通の維持・確保	
(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援	
(a) 若者の活躍支援	
(b) 女性が活躍できる環境づくり	
(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり	20
(ア) 既存インフラのマネジメント強化	

## 数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況集計表

### ○平成28年度

基本目標	合計	順調 (^_^)	横ばい (-_-)	不調 (>_<)	評価 不能
1 地域における安定したしごとの創出	30	19	6	4	1
2 少子化対策	16	8	8	0	0
3 移住・定住対策	12	6	5	1	0
4 新たな地域社会の形成	17	9	5	3	0
合計	75	42	24	8	1
重複している指標	5	3	2	0	0
実数	70	39	22	8	1

※「評価不能」は基礎データの変更により基準値との比較ができなくなった項目。

### 【参考】

### ○平成27年度

基本目標	合計	順調 (^_^)	横ばい (-_-)	不調 (>_<)	未確定
1 地域における安定したしごとの創出	30	19	6	5	0
2 少子化対策	16	9	4	1	2
3 移住・定住対策	12	9	2	1	0
4 新たな地域社会の形成	17	7	9	0	1
合計	75	44	21	7	3
重複している指標	5	4	0	0	1
実数	70	40	21	7	2

※「未確定」は28年度から新たに市民意識調査に追加した項目であり、27年度は集計していない。

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

数値目標	(1)市の施策に関する雇用創出数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	35	61				87	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							雇用奨励措置の対象となった新設・増設企業数がH28までに4社あり、13人の新規雇用があったほか、創業者が12人、新規就農者が36人であったことから、市の施策に関する雇用創出数は計61人となった。	順調 (^-^)

- (1)地域産業の活性化の推進  
 (ア)新エネルギー等関連産業の創出  
 (a)関連産業の創出と育成

KPI	(2)再生可能エネルギー自給率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7.0	7.2	8.1				19.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新たな風力発電所、太陽光発電所が稼働を開始したため。	横ばい (-_-)

KPI	(3)風力発電による導入量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	19,580	23,560	62,660				117,000	kW
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新たな風力発電所が稼働を開始したため。	順調 (^-^)

- (b)水素エネルギーの研究

KPI	(4)戦略期間内での研究会等の設置							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1				1	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							水素エネルギーに関する研究のため、「能代市次世代エネルギー研究会」に水素エネルギー研究部会を設けた。	順調 (^-^)

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(イ)企業誘致及び企業活動への支援等

(a)企業誘致の推進

KPI	(5)新設、増設企業数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	4				5	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							リサイクル関連企業の新設を含め、増加が見られた。	順調 (^-^)

(b)能代港の利活用促進

KPI	(6)能代港の取扱い貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	397,621	353,655	307,162				571,000	トン
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							風力発電機、火力3号機関連部材の荷揚量が増加したものの、全体としては減少傾向が続いている。	不調 (>_<)

(ウ)商工業の振興

(a)既存企業の維持拡大

KPI	(7)中小企業融資あっせん制度利用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	221	459				1,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							融資利率の引き下げ等により利用件数は増加した。	順調 (^-^)

(b)まちのにぎわいの創出

KPI	(8)歩行者、自転車通行量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,936	3,967	3,579				5,218	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							金融機関や高校の統合による移転等の結果、通行量は減少傾向にある。	横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(9) 空き店舗の利活用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	3	8				10	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新規創業者向けの各種支援制度との制度間連携により、利活用件数が増加した。	順調 (^-^)

(c) 起業等の促進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	4				5	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							リサイクル関連企業の新設を含め、増加が見られた。	順調 (^-^)

KPI	(10) 創業者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	8	20				30	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							無料相談窓口の利用者や創業塾受講者が創業に結びつくケースが増加した。	順調 (^-^)

(d) 人材の確保・就職支援

KPI	(11) 新規学校卒業者就職率(能代山本)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	36.9	39.4				50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							男女ともに増加した。県内就職率も増加傾向にある。市外企業の早期からの積極的な募集活動が要因と考えられる。	順調 (^-^)

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

### (エ) 農業の振興

#### (a) 野菜ランド能代の推進

KPI	(12) 戦略作物5品目の生産出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,110	1,426	1,665				1,500	百万円
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>天候等により変動があるが、ネギを中心にほとんどの品目について出荷数量が増加し、単価も堅調に推移したことから増加した。また、農産物の消費拡大のため、トップセールスやイベントでのPR活動等により有利販売に努めている。</p>								順調 (^~^)

#### (b) 水田農業の再構築

KPI	(13) 30a以上区画のほ場整備率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	60.6	61.3	62.1				64.2	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ほ場整備事業(区画整理)が順調に進められている。</p>								順調 (^~^)

KPI	(14) 一等米比率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	93.0	96.9	93.6				93.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>出穂後の天候が高温・多照・少雨で、カメムシ類の加害活動が活発化したことによる斑点米の増加により比率が下降した。</p>								横ばい (-_-)

KPI	(15) 食味値							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	71.1	75.0	75.0				77.0	
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>農家の適正な堆肥管理がなされたものと考えられる。</p>								順調 (^~^)

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

### (c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KPI	(16) 地産地消協力店数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41	41	46				60	店
		推移の分析・考えられる要因 広報によるPRの他、地産地消協力店による料理教室等の事業実施により、周知が図られ、順調に新規店舗が増加している。					達成状況	順調 (^~^)

KPI	(17) 農産物直売所の売上げ							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	219,390	238,555	249,506				356,467	千円
		推移の分析・考えられる要因 各直売所ごとに工夫し、目標に向かって順調に推移している。					達成状況	順調 (^~^)

### (d) 担い手育成と新規就農者の促進

KPI	(18) 担い手農地集積率(個人・集団を含む)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	54.9	56.1	57.7				64.9	%
		推移の分析・考えられる要因 担い手増加により、農地の集積率が増加した。					達成状況	順調 (^~^)

KPI	(19) 農業経営法人数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	18	20	21				25	法人
		推移の分析・考えられる要因 ほ場整備実施に伴い法人が新設された。					達成状況	順調 (^~^)

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(20)新規就農者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18	36				38	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。	順調 (^~^)

### (オ)林業、木材産業の振興

#### (a)木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

KPI	(21)木材製品出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	14,013	13,976	9,001				15,000	百万円
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							市内大手木材会社の事業撤退により木材製品出荷額が減少した。	不調 (>_<)

#### (b)林業生産の効率化

KPI	(22)林内道路密度							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	19.2	19.7	20.1				20.0	m/ha
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							林業専用道の開設により、順調に推移している。	順調 (^~^)

KPI	(23)皆伐後の植栽面積							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18.1	37.9				100.0	ha
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							概ね順調だが、20ha/年を下回っている。これは木材価格の下落により伐採しても再造林するだけの収益が見込めないためであり、補助制度のPRを図っていく必要がある。(H27:18.1ha、H28:19.8ha)	横ばい (-_-)

## 基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(24)秋田林業大学校本市出身研修生（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1				5	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							毎年1名超の入校を目指して補助制度をPRしていく。 (H28:1人、H29:1人)	順調 (^_^)

### (c)地場産材の消費拡大

KPI	(25)木のまちづくり推進事業利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	29	53	40				60	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							27年度から補助要件を緩和(内装材と外装材の併用を可能とした)し、制度のPRを図っているが、住宅着工件数の低迷と共に横ばいが続いている。	横ばい (-_-)

### (2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

#### (ア)市内外への魅力のPR

KPI	(26)能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10,273	8,956	6,035				30,000	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							さまざまな情報収集手段が普及しており、公的機関が発信する情報に頼る必要性が薄くなっていることが一因と考えられる。	不調 (>_<)

#### (イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	40.8	40.6				60.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							風の松原や白神山地常が日常の中に溶け込んでいるため、改めて観光資源であると認識する割合が伸びていない。食文化も同様に、能代地域独特の食べ物であっても、日常の中にあっては観光資源という意識をすることが希薄となっていると考えられる。	横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(28)滞在人口率の県内順位(休日)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	15	17					11	位
			推移の分析・考えられる要因				達成状況	
			指標のデータ基である地域経済分析システム(リーサス)において、基礎となるデータが変更されたため、基準値との比較ができなくなった。				評価不能	

(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29)観光客入込客数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159	1,564,437				1,800,000	人
			推移の分析・考えられる要因				達成状況	
			天空の不夜城や能代の花火、おなごりフェスでは増加しているものの、28年度はこども七夕や能代役七夕が平日に当たったことや、能代公園やニツ井地域の一部で把握手法の見直しにより統計上は数値に現れていないため全体としては低調となっている。				不調 (>_<)	

## 基本目標2 少子化対策

数値目標		(30)合計特殊出生率						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	1.24	1.31	1.33				1.55	—
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		合計特殊出生率は全体としては横ばいだが、30歳前半の階層が一昨年度、昨年度に引き続き上昇傾向にあるため、微増となっている。					横ばい (-_-)	

数値目標		(31)婚姻数						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	163	164	175				200	件
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		秋田県全体では年々減少傾向にある中、本市では微増の傾向にある。婚活パーティーや、その取組みを支援する「出会い創出支援事業」等、官民協働の取組みが徐々に効果を発揮しているものと考えられる。					順調 (^_^)	

### (1)脱少子化に向けた市民意識の醸成

#### (ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI		(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	27.1				60.0	%
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		28年度から市民意識調査の調査項目としている。					横ばい (-_-)	

KPI		(33)家庭教育支援事業等への中・高校生参加割合(中学生)(5力年累計)						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2.9	22.9				100.0	%
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		家庭教育関係講座を開催する中学校数が増えたため。 H27→1校1学年 H28→5校7学年					順調 (^_^)	

## 基本目標2 少子化対策

KPI	(33)家庭教育支援事業等への中・高校生に参加割合(高校生)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4.6	3.8	9.4				15.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							(高校生) 対象となる事業が増えたことによる。 (子育て支援センターで実施している命の大切さ 事業「サンデーすくすくひろば」に高校性ボラン ティアを派遣)	順調 (^-^)

### (2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

#### (ア)出会いの機会の提供

KPI	(34)あきた結婚支援センター入会者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	119	142	169				194	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							28年度に入会した27人のうち25人が入会登録料の助成を受けており、広報掲載や自治会等でのチラシ回覧などによる周知が進んでいると思われる。	順調 (^-^)

#### (イ)安心して出産・子育てできる環境の充実

##### (a)不妊治療等に対する支援の推進

KPI	(35)不妊治療費助成制度利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	44	67	57				53	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							助成制度の利用件数全体としては減少しているが、不妊治療の入口となる一般不妊治療の件数は増えている。(H27:36人、H28:41人)これは、不妊治療への理解・周知が進んでいること、医療機関の周知への協力を得られていることによると考えられる。	順調 (^-^)

##### (b)子どもを生み育てるサポート体制の充実

KPI	(36)子育て支援センター利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7,565	9,012	9,313				7,900	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							子育て支援センター事業の中には、参加者が減少しているものもあるが、センター開放日の利用者が増えていることから、定期的にセンターを利用する人が増えていると思われる。	順調 (^-^)

基本目標2 少子化対策

KPI	(37) 妊婦一般健康診査受診率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	86.8	87.9	100.0				100.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							H27の交付数が増えたことにより、H28の受診者が増加した。H28の交付数が減ったため、受診率は増加となった。妊婦健診は、流産等除くとほぼ100%の受診となっている。	順調 (^-)

KPI	(32) 子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-	-	27.1				60.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							28年度から市民意識調査の調査項目としている。	横ばい (-_-)

(ウ) 子育てで世帯の経済的負担の軽減

KPI	(38) 子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6				35.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							保育所、子育て支援センターなどが実施している子育て支援事業や「めんChoco事業」等により地域で支えあう雰囲気が浸透してきていると考えている。	横ばい (-_-)

(エ) 子育てと仕事の両立支援

(a) 安心して預けられる保育環境の整備

KPI	(39) 病児・病後児保育事業実施施設数(保育所等)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4	4	4				6	施設
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							看護師等の配置が必要となるため、施設数は増えていない。	横ばい (-_-)

## 基本目標2 少子化対策

KPI	(40)放課後児童クラブ(留守家庭児童会)のクラス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	11	9	11				15	クラス
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							淳城南小学校区へ2クラスを新設した。	横ばい (-)

### (b)企業等による子育て支援の促進

KPI	(41)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	24	24	24				26	社
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							策定義務のある101人以上の企業の策定率は、100%となっている。今後は100人以下の努力義務の企業への周知等が求められる。	横ばい (-)

### (オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6				35.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							わずかではあるが、目標値に向かって上昇しており、地域での子育て意識の醸成がなされていると考えられる。	横ばい (-)

### (3)次代を担う子どもの成長支援

#### (ア)きめ細かな教育の推進

##### (a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3				70.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、増加傾向にあると考える。	順調 (^)

## 基本目標2 少子化対策

### (b)多様なニーズに対応した教育の推進

KPI	(43)5歳児親子相談参加率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	92.3	93.2	97.3				93.0	%
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成25年から事業を開始し、次第に保護者や市内保育所・幼稚園等に、事業の趣旨や重要性が理解されてきたことが増加の要因と考える。</p>	<p>達成状況</p> <p>順調 (^-^)</p>

### 基本目標3 移住・定住対策

数値目標 (44)市からの転出、転入増減数								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	△ 292	△ 175	△ 279				△ 120	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							26年 転入1,256人 転出1,548人 27年 転入1,250人 転出1,425人 28年 転入1,245人 転出1,524人 転入はほぼ変わらないが、転出が約100人増えたことによる。	不調 (>△)

- (1) 首都圏等からの移住の促進
- (ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備
- (a) 移住情報の発信と収集

KPI (45)移住相談件数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	31	85				350	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							首都圏相談会の参加機会増加と移住支援を行っていることが市民・移住希望者に浸透したことによる増加と思われる。	順調 (^-^)

- (b) 移住者の受け入れ体制整備

KPI (46)市への相談を経て移住した世帯数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	8				15	世帯
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							首都圏相談会の参加機会増加と移住支援を行っていることが市民・移住希望者に浸透したことによる増加と思われる。	順調 (^-^)

- (イ) 多様なニーズに対応した移住促進

KPI (20)新規就農者数 (5カ年累計) (再掲)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18	36				38	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。	順調 (^-^)

基本目標3 移住・定住対策

KPI	(47) 移住体験参加世帯数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	0	—	5				20	世帯
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							28年度から体験ツアー事業を実施したことによる。首都圏相談会や県の東京窓口等で周知を行っている。	順調 (^-^)

(ウ)本市出身者のUターンの促進

KPI	(48) 移住相談件数のうちUターンした世帯数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	1	5				12	世帯
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							首都圏相談会の参加機会増加と移住支援を行っていることが市民・移住希望者に浸透したことによる増加と思われる。	順調 (^-^)

(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進

KPI	(49) 市内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	12	15				45	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							制度の周知の効果が、徐々に出てきていると思われる。	横ばい (-_-)

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見

KPI	(42) 地域の行事に参加している児童・生徒の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3				70.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、増加傾向にあると考える。	順調 (^-^)

基本目標3 移住・定住対策

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	161,011	204,667	216,987				351,000	件
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>スマートフォンの普及が飽和状態に近づいたうえ、SNSの普及もあり、27年度以降の伸びが鈍化している。</p>	
							達成状況	横ばい (--)

(ウ)特色あるまちづくり

KPI	(51)バスケの街を他に誇れると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	38.6	39.8	36.8				50.0	%
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>「能代市バスケの街づくり推進計画」を24年度からスタートし、各種取組を進めており、対外的には「バスケが強い高校がある街」としてイメージが普及しているが、市民意識の面では、能代工業高校バスケットボール部の活躍も影響し、日々の生活の中でバスケに関する情報(景観含めて)に触れる機会が減少していることが要因ではないかと思われる。</p>	
							達成状況	横ばい (--)

KPI	(52)能代バスケミュージアム来館者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4,502	3,715	3,699				5,000	人
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>プロ選手の握手会等、様々なイベントを開催しているが、来館者数は横ばいの状況にある。これはバスケミュージアムの建物の広さや駐車場の不足等の課題があることから、大規模イベント等の開催が難しいことが要因と考えられる。</p>	
							達成状況	横ばい (--)

KPI	(53)のしろ銀河フェスティバル来場者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	3,321	3,527	3,076				4,000	人
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>同日に市内中学校文化祭があり、中学生が参加出来なかった。</p>	
							達成状況	横ばい (--)

## 基本目標4 新たな地域社会の形成

数値目標	(54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	52.5				80.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							総合戦略策定時の20～49歳2000人を対象としたアンケートでは、65.3%が住みやすいまたはまあまあ住みやすいという結果であったが、対象年齢がより広い(18歳以上全て)市民意識調査の結果が、より現実に近い数値と思われる。	横ばい (-)

### (1) 広域的な視点での地域社会の形成

#### (ア) 能代山本地域の連携

KPI	(55)市と近隣町が新たに行う連携事業数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1				4	事業
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新たな取り組みとして、農業の担い手確保のために、能代市農業技術センターにおいて、能代山本3町からの研修生も受け入れることにした。	順調 (^_^)

### (2) 地域社会の維持・活性化

#### (ア) 地域コミュニティの維持

##### (a) 自治会等への支援

KPI	(56)公民館等利用者割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	20.0	19.4	21.8				20.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							通常の利用のほか、地区文化祭等催事への参加が利用者人数増に反映したと思われる。	順調 (^_^)

KPI	(57)自治会・町内会数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	347	346	350				345	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							南大瀬自治会の分会による。(南大瀬第一自治会～南大瀬第五自治会)	順調 (^_^)

**基本目標4 新たな地域社会の形成**

KPI	(58) 自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	36.5	34.7	35.4				50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							23年の東日本大震災以降、ボランティアに対する市民意識の高まりがあったが、時間の経過とともに横ばいの状況にある。	横ばい (-)

**(b) 地域づくりの促進**

KPI	(59) 市民まちづくり活動支援事業応募件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	9	8				10	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							申請件数8件のうち、事業採択されたのが5件である。申請団体数については、新規に申請する団体数と単年度で終了する団体数が同程度の状況にある。	順調 (^)

**(イ) 防災への対応強化**

KPI	(60) 消防団員充足率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	83.9	83.8	82.7				93.8	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少、若年層の減少、被雇用者の増加といった地域社会の状況の変化により、一般団員の加入が思うように進まない状況にある。一方で、定年を迎えた消防団員が機能別団員として引き続き消防団活動に従事する例が増加している。	不調 (> <)

KPI	(61) 自主防災組織数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3	5	5				12	自治会
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							出前講座で自主防災組織について周知したほか、防災士養成講座を実施するなど自主防災組織結成に向けた取り組みを行ったところ、組織結成に向け準備を進めている自治会が数箇所あり、今後増加していくものと考えている。	横ばい (-)

## 基本目標4 新たな地域社会の形成

### (ウ) 地域公共交通の維持・確保

KPI	(62) 路線バス等の利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	330,170	326,470	299,488				330,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子高齢化、自動車の普及により減少傾向が続いている。</p>								不調 (>_<)

KPI	(63) 巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しのめ号』)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10	10	11				14	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>はまなす号、しのめ号ともに増加した。利用客の定着によるもの、また、冬期間の積雪により増加となった。</p>								順調 (^_^)

### (エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援

#### (a) 若者の活躍支援

KPI	(64) 市民活動支援センター登録団体数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	56	63	70				70	団体
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ホームページのリニューアルや主催事業等で、積極的な登録促進を行ったことによる。</p>								順調 (^_^)

#### (b) 女性が活躍できる環境づくり

KPI	(65) 性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	8.8	10.9	9.4				15.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>年度によって若干の変動があり、男女共同参画都市宣言や関連事業、日本語学習ふれあい交流支援事業、人権擁護活動促進事業等を行っているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。</p>								横ばい (-_-)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	13	13	13				20	事業所
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							登録方法が簡易であることに加え、企業のイメージアップにも繋がる一方で、その条件としては女性の能力の登用やワークライフバランスの環境づくり等、意識改革や制度改革を伴うもので、即時の対応が難しい一面もある。	横ばい (-)

(c)健康で元気な高齢者の活躍促進

KPI	(67)シルバー人材センター会員数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	335	310	286				400	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新会員の加入を促進するため、二ツ井地区で出張入会説明会を実施したほか、月2回、定期的に入会説明会を開催し、新たに21名が入会したが、会費未納や家庭の事情等の理由で45名が退会し、24名の減少となった。	不調 (><)

KPI	(68)高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,889	4,434	5,115				5,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							増加の要因は、趣味講座の拡充によるものである。	順調 (^_^)

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-	-	100				100	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成29年3月に策定済み。(計画期間は平成58年度までの30年間)	順調 (^_^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(70) 橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	5				22	橋
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							<p>予定通り順調に推移している。                      (28年度は、大台野橋、西の沢口橋、竹生橋(廃橋)、不動前橋、下田平2号橋(廃橋))</p>	順調 (^-^)